

保護者の皆様

調布市立調和小学校

校長 安藤 力也



## 調和小学校 教育活動アンケート お助けガイドブック

教育活動アンケートに御回答いただく際の手助けとなるよう、本校の教育活動の一部を御紹介いたします。回答の際の参考となりましら幸いです。

### ① 子どもは、すすんであいさつをしている。

年度当初、全校児童に向けて挨拶の大切さについて講話を行いました。

その際、「あ」アイコンタクト、「い」いつでも、「さ」さきどり、「つ」つながる心、という四つのキーワードを示し、挨拶を積極的に行うことの意義を伝えました。

また、毎朝正門に立ち、登校する児童を笑顔で迎えています。児童との挨拶やちょとした会話を通して、挨拶が人と人をつなぐ大切な行為であることを実践的に示しています。さらに、毎年6月と11月に実施される「調布市あいさつ運動週間」では、PTAや地域の協力を得て、児童に挨拶の励行を促しています。

教職員も児童との挨拶を率先して行い、学校全体で明るく温かい雰囲気づくりに努めています。こうした取組により、児童の挨拶の声は以前よりもはっきりとし、笑顔も増えてきました。挨拶を学校文化として定着させるため、地域や保護者との連携を深めながら、児童が自ら進んで挨拶できる環境づくりを推進しています。



### ② 子どもは、異学年交流(たてわり班)活動や道徳教育や体験的活動等を通して、豊かな心が育っている。

本校では、児童が豊かな心を育むことを目指し、様々な活動を行っています。

◇異学年交流(たてわり班)活動では、全校児童を縦割りの班に分け、高学年がリーダーシップをとり、遊びや交流などを協力して行います。年上の児童が年下の児童を思いやり、助ける姿が見られ、互いに尊重し合う心が育っています。12月には6年生から5年生にリーダーを引き継ぎ、より充実した活動となるように代々たてわり班活動を継承しています。

◇道徳教育では、年間指導計画に基づき、命の大切さや友情、感謝の心などをテーマにした道徳科の授業を要として実施しています。話し合いや振り返りを通して、子どもが自己の生き方を考え、主体的に判断し行動できるようにし、他者と共によりよく生きるための基盤となる「道徳性」を全教育活動を通じて養っています。

◇生きた知識や豊かな情操を育むための体験的活動として、以下のような取組を行っています。

【低学年】生活科での植物栽培や昔遊び、給食調理と連携した食育体験、2年生による1年生の学校探検、1年生と幼稚園や保育園と連携した学校案内など

【中学年】野川博士を招致しての野川学習、車いすやアイマスク体験を通しての障がい者理解、デフリンピック観戦など





【高学年】国会議事堂や工場などの社会科見学、日光やハケ岳移動教室を通しての自然体験、プロスポーツ選手や保護者によるキャリア教育など

地域の方々やゲストティーチャーと連携した体験学習を行っています。こうした活動を通じて、児童は社会とのつながりを実感し、思いやりや感謝の心を育てています。これらの取組により、児童は協力する楽しさや人を思いやる気持ちを学び、豊かな心を育てています。

### ③子どもは、きまりを守り、基本的な生活習慣を身に付けて生活している。

本校では、児童がきまりを守り、基本的な生活習慣を身に付けて生活できるよう、次のような取組を行っています。

【生活目標の設定と振り返り】学級や学校全体で月ごとの生活目標を設定し、達成度を振り返ることで、きまりを守る意識を高めています。

【道徳や学級活動での話し合い】きまりの意味や守ることの大切さについて考える時間を設け、主体的な理解を促しています。

【朝の会・帰りの会での確認】毎日、挨拶・身支度・持ち物の整理などを確認し、生活習慣の定着を図っています。

【清掃活動の徹底】決められた時間に、役割分担を守って清掃を行うことで、責任感や協力する態度を育てています。

【給食の準備・片付けの指導】衛生面やマナーを守りながら、時間を意識して準備・片付けをする習慣を身に付けています。



### ③ 子どもは、スポーツフェスティバルや音楽会等の学校行事では目標をもって取り組んでいる。

本校では、子どもたちが学校行事に目標をもって取り組み、成長へとつながるような様々な工夫をしています。

◇行事の前には、各学級の代表委員が話し合った目標をもとに、代表委員会で学校全体のスローガンを決定します。練習では、友達同士で励まし合い、できたことを認め合いながら、少しずつ自信を付けていきます。また、一人一人が自分の目標を設定し、達成に向けて努力します。

◇本番では、重ねてきた努力の成果を全力で発揮しようとする子どもたちの真剣な姿や、演技・競技や発表をやり遂げた後の笑顔があふれています。「がんばったね!」という声かけには、仲間と協力して目標を達成した喜びが込められています。

◇行事終了後には、当初立てた目標を振り返り、次の活動に生かせるようキャリア・パスポートに記録します。

こうした取組を通して、努力することの大切さや仲間と力を合わせる楽しさを感じながら、子どもたちは確かな成長を重ねています。



### ⑤子どもは、授業の内容をよく理解している。

お子様の様子から御回答ください。

### ⑥子どもは、すすんで学習に取り組んでいる。

お子様の様子から御回答ください。





## **⑦学校は、ICT 機器の活用や子ども同士の学び合いを推進するなど、主体的な学びの実現に向けた授業づくりを進めている。**

本校では教職員の校内研究において、子どもたちが主体となる授業づくりを進めています。授業では、児童用タブレット端末やプロジェクターなどの ICT 機器を活用し、調べ学習や意見の共有をスムーズに行えるようにしています。例えば、調べたことをまとめてプレゼンテーションソフトで発表したり、ミライシードを活用して友達の考えを画面上で見比べたりすることで、学びが広がっています。



また、児童同士が教え合ったり、意見を交換したりする学び合いの場を大切にしています。グループやペアでの対話や情報共有を通して、自分の考えを伝えたり、友達の考えを取り入れたりすることで、より深い理解につながっています。

こうした取組により、子どもたちは、自分で考え、表現し、協力して学ぶ力を少しずつ身に付けています。今後も、ICT の効果的な活用や学び合いを通して、主体的な学びをさらに充実させていく予定です。

## **⑧子どもは、体育の授業や体を動かす活動に楽しく取り組んでいる。**

本校では、体育の授業や体を動かす活動を、子どもたちが楽しく取り組めるように工夫しています。

◇体育の授業では、基本的な運動技能を身に付けるだけでなく、ゲーム性を取り入れた活動や、仲間と協力する場面を多く設けています。例えば、リレーやボール運動では、チームで声をかけ合いながら取り組むことで、楽しさと達成感を味わえるようにしています。



◇調布市の取組である「ちょこプラ」調布を通して、運動の日常化を目指した活動を行っています。

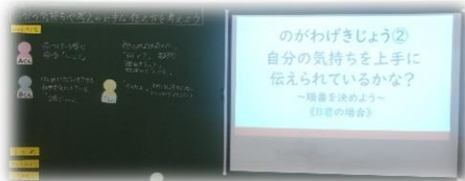
◇休み時間や特別活動の中でも、体を動かす機会を積極的に設けています。校庭や体育館での自由遊びや、学級でのミニゲームなどを通して、運動の楽しさを感じられるようにしています。スポーツフェスティバルで長なわとびを導入したことにより、休み時間に楽しむ姿を数多く見るようになりました。

こうした取組により、子どもたちは「体を動かすことが好き」「仲間と一緒に活動するのが楽しい」という気持ちを育んでいます。

## **⑨学校は、校内通級教室やスクール・カウンセラー、特別支援教育コーディネーター等を活用して、子ども一人一人を大切にした指導や支援の充実に努めている。**

本校では、子ども一人一人を大切にした指導や支援の充実に努めています。

◇校内通級教室では、在籍学級と連携を図りながら、自分の力を発揮しよりよい生活を送ることができるよう個別指導や小集団指導をとおして個に応じた指導を行っています。



◇校内通級教室拠点校の強みを生かし、担当教員が全学級において、人それぞれ好みや感じ方の違いがあることや、得意・不得意なことがあり互いに助け合うことの大切さなど伝える、特別支援教育体験授業を行い、相互理解を進めています。

◇4名の特別支援教育コーディネーターを中心に、学級担任や関係スタッフが連携し、個別の教育支援計画及び連携型個別指導計画を作成・活用しています。

◇毎月、校内委員会を開き、児童への支援の方向性を共有することで、子どもが安心して学べる環境づくりを進めています。◇週2日、2名のスクール・カウンセラーは、子どもや保護者の相談に応じ、心のケアや学校生活への適応をサポートしています。

◇スクール・ソーシャル・ワーカーが家庭や地域との連携を図り、生活面での支援や相談に応じています。状況によって外部機関と連携を図り、支援を行っています。

こうした取組により、子どもたちが自分らしく成長できるよう、学校全体で支援体制を整えています。

## ⑩子どもを安心して学校に通わせることができる。

共感的な人間関係づくりや安心・安全な風土の醸成を図り自己肯定感や自己有用感を育む教育活動を進めるとともに、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう様々な取組を行っています。

◇全児童には毎月「心の天気予報」「友だちアンケート」、5年生全児童はスクール・カウンセラーによる全員面接を行い、きめ細やかな実態把握に努めています。

◇いじめ対策委員会は適時、いじめ対策夕会を週1回実施し、全職員が組織的にいじめの未然防止・早期発見・早期解決を図っています。

◇児童自らがいじめについて主体的に考える機会として、いじめに関わる授業を年間3回実施しています。

## ⑪学校は、交通安全や不審者対応・災害時対応等、安全指導の充実に努めている。

本校では、子どもたちの安全を守るため、交通安全や不審者対応、災害時対応など、さまざまな安全指導を充実させています。毎月、安全指導日を設定し、年間を通して児童に交通安全や生活安全などを計画的に指導しています。指導の際は、提示資料を活用し、全校で共通の安全指導を行っています。具体的な内容として、交通安全については、登下校時の安全確認や横断歩道の渡り方を指導し、不審者対応では、危険を感じたときの行動や「いかのおすし」などの合言葉を確認しています。併せて、年1回、全学年でセーフティ教室を実施しています。



また、地震や火災などの災害時に備え、年間計画に基づいて、月1回避難訓練を行い、児童が落ち着いて安全に避難行動をとれるよう指導しています。こうした取組を通して、子どもたちが自分の身を守る力を身に付け、安心して学校生活を送れるよう努めています。

## ⑫学校は、地域の教育材や人材を活用したり、地域関係団体と連携したりしながら、地域とともに子どもを育てる教育活動を推進している。

本校では、地域とともに子どもを育てる教育活動を推進しています。コミュニティ・スクールの導入により、学校運営協議会を中心に、地域の方々と教育目標や方針を共有し、協働して学校づくりを進めています。

地域学校協働本部の活動では、低学年に学習支援員を毎日配置し、児童の見守りを強化しています。また、他学年でも、校外学習の引率補助、調理実習や理科実験のサポート、読み聞かせボランティアなど、地域の教育資源や人材を活用した取組を行っています。



さらに、ちようわ地区協議会や健全育成推進調和地区委員会、SHC 倶楽部などの学校関連団体と連携し、地域行事や防災訓練への参加を通して、子どもたちが地域の一員としての自覚を育むよう努めています。

こうした取組により、学校と地域が連携し、子どもたちが学びの場を広げながら、豊かな心と社会性を育てています。

## ⑬学校は、授業参観や学校行事、学校だよりやホームページ、すぐー等を通じて、学校や子どもの様子等を伝える機会を設けている。

◇年間4回の授業公開やスポーツフェスティバル、音楽会の学校行事をはじめ、来校いただく機会や学校だより等のお便りでは子どもたちの様子や本校の教育活動について御理解いただけるよう、その充実に努めています。

◇調和小学校ホームページでは「学校生活の様子」や「おたより」等を随時更新したり、学校安全・安心情報配信システム「すぐー」を活用して調布市や学校からの情報適時配信したりして、教育活動に関する情報発信に努めています。